

★★ 自然体験フォーラムワークショップ一覧 ★★ 両日、①～⑥の中で1つお選びください。

2月11日(土) 15:00～17:30

2月12日(日) 9:30～12:00

①生物多様性と農業・農体験

NPO法人アグレコ

日本の里山は生物多様性の宝庫といわれています。それはなぜなのか、生物多様性の農業的意味を考えながら、農家の視点で解説を試みます。里山生活には欠かせない「縄ない体験」も行います。

②身の回りの物で野外調理～無駄になるものは何もない～

熊本県環境センター 環境教育指導者 井手尾 真美氏

自然体験の中でわざわざ時間をとることが少ない「食」のプログラム。道具や材料が少ないときはどうする?調理で出た生ゴミは本当にゴミ?ゴミにならないための循環って?「気づく」ことを考えるプログラムを行います。

③森の中で子どもと遊んで20年

～森の冒険あそび場で子どもたちが感じること～

木の実幼稚園 園長 金子 仁氏

森の中には楽しいこと、美味しいものがいっぱいある。決まりはない。あそびは自分で考える。そんな環境の中での子どもたちの様子を紹介しながら子どもたちと自然体験のつながりや森の中の危険について考えます。

④ロケットストーブって何だんべえ～節電・省エネ出前講座～

群馬自然体験研究会(G-NEWS)

ロケットストーブとはエコな低予算で作れる今話題の野外調理器具です。来て見て触ってロケットストーブで作る料理を味わってください。他にもアウトドアで使える手作り調理アイテムの展示や自然素材を使った簡単クラフトもやります。

⑤GEMSを使った大人のためのアクティブラーニング体験

ジャパンGEMSセンター 鴨川 光氏

GEMS(ジェムズ)は、カリフォルニア大学バークレー校で開発された、子どもを対象とした科学と数学の参加体験型プログラム。今回はベタッとくっつく「のり」を身近な材料でつくってみましょう!自分で材料の配分を決めてオリジナルののりをデザイン。自分が求めた性質(粘着度や色)が得られるようなレシピを見つけるために試行錯誤する中で、予想する力や変化を観察する力を養います。

⑥木のある生活～木育って知ってますか～

酒井産業株式会社

もっと暮らしに「木」を取り入れませんか?木育とは何か?子供の頃から木に触れることはなぜ良いのか?木と触れ合いながら木のある生活の魅力を学びます。

2月11日(土)

9:00～11:00  
11:00～11:30  
11:30～12:00  
12:00～13:00  
13:00～14:45  
15:00～17:30  
17:30～19:00  
19:00～19:30  
19:30～21:30

受付開始  
はじまりの会  
アイスブレイク  
昼食  
全体会  
ワークショップ  
入室・入浴  
ポスターセッション  
懇親会



①大人のB級クラフト

ぐんま山森自然楽校 代表 剣持 雅信氏

木の実や小枝など身の回りにある、自然の素材を使ってオリジナルのアートクラフトを作ります。

②子供の頃の体験がもたらす効能

～今の子供に必要な体験とは?～

国立青少年教育振興機構 青少年教育研究センター 青木 康太朗氏

なぜ、今の子供たちは自然体験が必要なのでしょう?今の子供たちの体験の現状や体験がもたらす効果が分かる調査データをご紹介します。子供に必要な体験とは何かについて考えたいと思います。

③本物に触れる特別な体験～魚が教えてくれること編～

NPO法人まえばし農学舎 大崎 浩樹氏 (大崎つりばり)

赤城南麓の釣り堀で魚を育てる職人が魚を語る。実際に仕掛けを作り、自分で作った仕掛けで魚を釣る体験もできます。

④群馬で1番雪深い「まち」に人はなぜ移住するのか

～移住して気づくみなかみの魅力とは～

NPO法人奥利根水源地ネットワーク 北山 郁人氏

みなかみに住んでいる方でも住むのを拒む藤原になぜ、1ターン者が多く来るのか?また、なぜ来るようになったのか。移住してきたからこそわかる、みなかみ藤原の魅力とは。移住した理由や課題についても語ります。

⑤地域の魅力の活かし方

～行事や特産品がないならつくりましょう!!～

前橋市地域づくり連絡会

昔から行われている行事、その土地ならではの特産品、全ての地域に必ずあるわけではありません。ないなら新たに作ればいい。あるなら活かせばいい。前橋市23地区の地域づくり協議会の中から特色ある取り組みを紹介しながら、地域ならではの町おこし・地域づくりの方法を考えます。

⑥野外炊爨で楽しく防災

希望食品株式会社

炊爨(すいさん)とは煮炊きのこと。

近年ではレジャーとして確立されたアウトドアですが、屋外での煮炊きの経験は野外活動の醍醐味ともいえます。近年では災害備蓄でよく利用されるアルファ化米のアレンジを中心に、生きて使える体験活動を一緒に考えましょう。

※教材費が別途300円かかります。※当日会場で集金となります。

※ワークショップの内容は多少変更になる可能性があります。

2月12日(日)

7:00～7:15 朝のつどい  
7:20～9:00 朝食・清掃・点検  
9:00～9:30 荷物移動  
9:30～12:00 ワークショップ  
12:00～13:00 昼食  
13:00～14:30 ふりかえり・おわりの会



■お問い合わせ先■

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立赤城青少年交流の家 (〒371-0101) 群馬県前橋市富士見町赤城山27

TEL: 027-289-7224/FAX: 027-289-7226

E-mail: akagi-kikaku@niye.go.jp URL: http://akagi.niye.go.jp/ 担当: 黛(まゆずみ)・小倉

自然体験  
フォーラムの  
Facebookページ



ウェブ申し込みが難しい場合、この申込書をお送りください。詳しい申込書をFAXでお送りいたします。

ふりがな	
氏名	
住所	〒
TEL	( )
FAX	( )
所属団体名	